

23: 海外ドナーからの移植

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 中瀬 浩一	愛媛県立中央病院	血液内科
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
一戸 辰夫	広島大学病院	血液内科
東梅 友美	シンガン大学	
三田村 真	サーモフィッシュサイエンティフィック株式会社	
木村 文彦	防衛医科大学校病院	血液内科

2. 承認研究の進捗状況(2015 年 1 月-12 月 ※JSHCT2016 を含む)

23-1	「海外非血縁ドナーからの造血幹細胞移植の成績に関する検討 ～国内非血縁ドナーからの骨髄移植・さい帯血移植との matched-pair 解析」 PI:一戸辰夫
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 執筆中	
23-2	「海外ドナーからの移植例における HLA 型の特徴についての研究」 PI: 中瀬浩一
学会発表: 中瀬浩一 他 第 38 回日本造血細胞移植学会総会 平成28年3月3日-5日、名古屋国際会議場 論文業績: 執筆中	

3. 会議開催記録(2015 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
7 月 5 日	名古屋第一赤十字病院	当 WG の上記2研究の進捗状況の確認、および新規研究についての打ち合わせ

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2015 年 12 月末時点まで)

(266)回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

以前であれば海外ドナーからの移植を考慮していた、国内で HLA のアレル適合ドナーがいない症例においては、現在臍帯血移植・ハプロ移植が考慮されることが多いと思われる。しかし、2016 年 3 月の第 38 回日本造血細胞移植学会総会で発表予定の 23-2「海外ドナーからの移植例における HLA 型の特徴についての研究」において示す通り、海外ドナーからの移植も、アレル適合ドナーから行えば成績は良好であると思われ、我々は現在でも海外ドナーからの移植は選択肢の一つとして依然有用であると考えている。

海外のバンクドナーと国内骨髄バンクドナーのコーディネート日数を比較することは、ドナー選択を行う上で重要な情報になると思われる。骨髄バンクのデータ・試料委員会に研究計画書を提出し、実際に海外ドナーのコーディネート日数の調査等を行う事を検討中である。

今後は他の WG・国外の造血細胞移植にかかわる学術組織等と連携し、最適なドナーソースからの移植が選択出来るようなデータを示していきたいと考えている。